

第19回秋季セミナー

「ものづくり 明日への力」

- 国際化時代を生き抜く技術と戦略 -

http://homepage2.nifty.com/tmsj/japan/annual/autumn_seminar_19th/

本年度の秋季セミナーは、「ものづくり、明日への力 ~ 国際化時代を生き抜く技術と戦略 ~ 」と題して大阪大学中之島センターにて開催します。

電力不足や省エネルギー化、グローバル化といった日本を取り巻く環境の中で、ものづくりに課せられた使命が改めて問われています。繊維の分野でも、繊維機械をはじめ機能素材や複合化、産地活性化や国際戦略などの多角的な観点から繊維の役割をとらえ、繊維産業の活性化を力強く推進していくことが重要ではないでしょうか。そのような主旨から今回は、関係分野の第一人者による講演を中心として企画いたしました。

1日目の特別講演では東レ株式会社 取締役の佐々木久衛氏に、繊維産業が果たしてきた役割とこれからの素材革命、技術の可能性について語っていただきます。高い技術を誇りながら苦しい状況が続いている日本の繊維産業が抱える課題とこれからの発展についてうかがいます。さらに、今回は「グローバル視点で競争力を強化する」をテーマに、錚々たるメンバーをお招きしてパネルディスカッションを行います。経済産業省の三浦聡氏には行政の視点から、世界に通じるものづくりを実践しておられる大正紡績の近藤健一氏にはものづくりの心を、このほど本学会を基盤に「繊維・未来塾」を立ち上げられた松田正夫氏には国際化に対応できる人材育成について、さらに繊維評価技術協議会の田澤壽氏には日本の競争力強化のための国際標準化について、まずはお話をいただき、その後ディスカッションしていただきます。時間をたっぷりとしていますので、是非会場からも様々なご質問、ご意見を頂きたいと存じます。

2日目の特別講演は株式会社感性リサーチ 代表取締役社長 黒川伊保子氏をお呼びしました。コンピュータメーカーで人工知能開発に携わり、脳とことばの研究をされてマーケティングの世界に新境地を開拓した、感性分析の第一人者です。脳科学から見た市場の読みかた、デザインの流行予測の手法などについてお話いただきます。2日目には4つの興味深いテーマのセッションを設定しました。「繊維機械の進化～紡織から染色まで」は日本繊維機械学会ならではのセッションで、日本を代表する紡績、織編、染色の機械メーカーの方々に集合していただくことになりました。「機能性繊維・加工技術の新展開」のセッションでは日本の得意とする機能性繊維・加工技術の展開、応用について詳しくお話いただきます。「世界市場で最先端を目指す」のセッションでは、すでに世界で活躍しておられる企業の方々から具体的な国際展開についてお話をうかがいます。また、「炭素繊維が切り開く未来」のセッションでは、東京大学の影山和郎氏をはじめ、炭素繊維を中心に複合材料の展開を図っておられる公設試、企業の方々をお呼びしてお話をうかがいます。

厳しい状況の中を生き抜いてきた日本の繊維業界、その底力と、これからも粘り強く生き残っていくための力強さを感じていただけるのではないかと考えております。明日への力をたくわえるために、どうぞ皆様ご参加下さい。第19回秋季セミナー実行委員一同、心よりお待ちしております。

【期日】平成24年11月15日(木) 16日(金)

【会場】大阪大学中之島センター(大阪市北区中之島4-3-53)

京阪中之島線「中之島駅」下車徒歩約5分、地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」下車徒歩約10分

<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php>

【第1日目：11月15日（木）】会場：10階ホール

13.00	開会の辞	第19回秋季セミナー実行委員長	中西 康雅
13.05	挨拶	日本繊維機械学会長	木村 照夫
13.15 ～ 14.15	特別講演（1） 「繊維産業が果たしてきた役割とこれからの素材革命、技術の可能性」 東レ（株）取締役 佐々木久衛 日本の繊維産業は高い技術と感性を活かして、従来の常識を変えた衣料革命とも呼べる新たな衣料文化を創出してきた。現在の産業ボーダレス化などの時代の転換期における課題と発展の方向性について、繊維技術戦略や欧米の事例に触れながらまとめ、今後の繊維素材の役割と可能性について繊維フロンティア分野の開拓を中心に述べます。		
休憩（14.15～14.30）			
14.30 ～ 16.20	パネルディスカッション 「グローバル視点で競争力を強化する（第1部）」 司会よりパネラーの紹介：10分 第1部：パネラーによる講演：100分（発表20分・質疑5分を×4氏） パネラー：三浦 聡（経済産業省 製造産業局 繊維課 課長補佐） 近藤 健一（大正紡績（株）取締役） 松田 正夫（繊維・未来塾 塾長） 田澤 壽（一般社団法人繊維評価技術協議会 理事） 進行：松下 義弘（京都工芸繊維大学 特任教授）		
休憩（16.20～16.35）			
16.35 ～ 17.35	パネルディスカッション「グローバル視点で競争力を強化する（第2部）」 第2部：パネルディスカッション：50分 フロアトーク10分（パネラーは第1部に同じ）		
移動（17.35～18.00）			
18.00 ～ 19.30	交流会（2階 カフェレストラン スコラ）		

【協賛】

石川県繊維協会

関西ファッション連合

繊維製品技術研究会

日本麻紡績協会

日本家政学会

日本産業皮膚衛生協会

日本繊維製品品質技術センター

ボーケン品質評価機構

大阪染色協会

京都府織物・機械金属振興センター

繊維評価技術協議会

日本衣料管理協会

日本感性工学会

日本繊維機械協会

日本染色協会

カケンテストセンター

高分子学会

富山県繊維協会

日本化学繊維協会

日本材料学会

日本繊維技術士センター

プラスチック成形加工学会

【第2日目：11月16日（金）午前】

A会場（10階ホール）		B会場（7階702室）
繊維機械の進化～紡績から染色まで		機能性繊維・加工技術の新展開
9.30 ～ 9.55	<p>自動ワインダーの役割と最新機に求められる性能 村田機械（株）繊維機器事業部 営業部 神谷 直樹 紡績の最終工程を担う自動ワインダーの役割とは？糸の欠点を取り除きながら、次工程で使用しやすい形状のパッケージに巻きあげる一見単純な工程である。次工程への準備でありながら最終製品としてのこだわりも求められる完璧なパッケージに仕上げるために、高品質（Q=High“Q”uality）、高生産（P=High“P”roductivity）、省エネ（R=Energy“R”eduction）、操作性向上（O=Easy“O”peration）への技術を結集した最新鋭モデル“QPRO”について述べます。</p>	<p>高強力繊維<ベクトラン>の用途展開 （株）クラレ 繊維素材企画開発部 主管 片山 隆 当社ではポリビニルアルコール繊維をはじめ、各種の高性能繊維および高機能性繊維の開発・生産をおこなっている。今回は、高強力繊維<ベクトラン>の優れた性能・機能を利用した用途展開について述べる。<ベクトラン>の振動減衰機能を利用したコンポジットには、ゴルフシャフト、自転車のフレームあるいは卓球のラケットなどがあるが、さらに<ベクトラン>の耐貫通機能を利用することにより、コンポジット分野へのさらなる展開が期待される。その他にも<ベクトラン>は優れた機能を有しており、期待される用途について述べます。</p>
9.55 ～ 10.20	<p>合成繊維製造過程における糸の冷却方法 TMTマシナリー（株）紡糸・引取グループ 第二設計チーム 金子 雅彦 省エネ、高品質な合繊糸を得る為、製糸時の冷却装置として環状式冷却装置を研究・開発しました。環状式により吐出口金を千鳥配置にすることが可能となり、設備の省スペース化、安定した高生産性を達成することが可能となりました。装置コンセプト、性能について述べます。</p>	
休憩（10.20～10.25）		
10.25 ～ 10.50	<p>織機の展開 津田駒工業（株）繊維機械事業部 繊維機械技術部 山田 茂生 津田駒工業（株）は、25万台のジェットルームをはじめとする織機とサイザーをはじめとする準備機械を生産してきた。この間、新しい織物分野への挑戦を繰り返し、機種を拡充している。 今回、現行機の母体 ZAX9100 と、派生したパッケージ機種について述べます。</p>	<p>あなたのゴルフはシャフトで変わる 私のシャフト開発は、フィーリングの数値化から始まった 元藤倉ゴム工業 ゴルフ研究部 松本 紀生 平成2年1月5日。私のゴルフカーボンシャフトの研究開発は、何故か42歳の誕生日から始まった。その日上京した私に、私を彼の事業の（新）世界に連れてきた有田静生は、ひと月半の間、ド素人に、彼の持ったゴルフや用具の知識を投げ続けた。最後に、氏の夢を込めた研究開発テーマをくれた。EI 測定機と試打ロボットの開発、そして、シャフトの「フィーリングの数値化」だった。こんな開発が、どうシャフトの開発に結んでいくのか述べます。</p>
10.50 ～ 11.15	<p>新型リング精紡機 RX300 （株）豊田自動織機 繊維機械事業部 技術部 山本 耕士 全世界で2千万錘以上の実績をもつRXシリーズが新モデルRX300に生まれかわりました。最大錘数を1,824錘にまで延長し、新型モータ、新型ニューマ装置の採用により、優れた省エネ性能を実現。お客様評価の高い電子ドラフトシステムについても対応範囲を拡げ、インジェクションスラブなどを実現。これら最新技術について述べます。</p>	
休憩（11.15～11.20）		
11.20 ～ 11.45	<p>多用途電子柄編みダブルフリース機 V-SEC7BF （株）福原精機製作所 技術部 設計課 古川 智之 丸編機で生産される裏毛（ダブルフリース）は古くからカットソーの定番である。そして現在までいろいろな工夫がなされてきた。弊社ではその中でも編目形成方法と電子制御選針方法を組合せ、新しい裏毛編地編成方法を確立させた。それらの技術について述べます。</p>	<p>透湿防水コーティング素材「ブルーフエース」シリーズの開発 ユニチカトレーディング（株） 技術開発部 副島信一郎 アウトドアウェアやレインウェアに広く使用されている透湿防水素材は、防水性と透湿性を兼ね備えた素材であり、当社としては、独自のコーティング技術を用い「ブルーフエース」を展開してきた。今回は、ブルーフエースシリーズとして「ブルーフエース」、肌離れ性に優れる「ブルーフエース3A」、防水性と透湿性を高いレベルで両立させた「ブルーフエースNP」について述べます。</p>
11.45 ～ 12.10	<p>最新のインクジェット捺染技術動向について セイコーエプソン（株）生産技術本部 部長 片倉 孝浩 インクジェット捺染技術の最新動向と弊社の技術開発状況について説明すると共に、インクジェット捺染の魅力を最大限に引き出し、国内捺染ビジネスを発展させるために提案する商品並びに周辺技術について述べます。</p>	
昼食（12.10～13.00）		

【第2日目：11月16日（金）午後】

A会場（10階ホール）	
13.00 ～ 14.00	<p>特別講演（2）</p> <p>「感性マーケティング～脳が創り出す時代の風」（株）感性リサーチ 代表取締役社長 黒川 伊保子</p> <p>ヒトの脳には7年で飽きるという特性があり、その8倍＝56年周期をもって感性傾向は大きく一巡します。脳の回路特性が生み出すこれらの周期は、デザインやネーミングの好みを大きく変え、流行に強く関与しています。ここでは脳科学から見た「流行の法則」を紐解きます。</p>
休憩（14.00～14.10）	
	<p>A会場（10階ホール）</p> <p>「世界市場で最先端を目指す」</p>
	<p>B会場（7階702室）</p> <p>「炭素繊維が切り開く未来」</p>
14.10 ～ 15.00	<p>一貫メーカー「NIKKE」ブランドの構築と国際展について</p> <p>NIKKE MILANO OFFICE 日本毛織（株）</p> <p>企画開発部ニッケミラノオフィス駐在 大野 正博</p> <p>日本毛織（株）NIKKEは1990年5月にニッケミラノオフィスを開設し、欧州での情報収集と拠点づくりにはじまり、2002年9月に世界的なテキスタイル展プルミエールヴィジョンにヨーロッパ以外からの初出展から10年が経過した。「世界に通用する価値の創造」をスローガンに「NIKKE」ブランドの構築を目指し、歴史と伝統にのっとり一貫メーカーとしての梳毛紡績、技術力、企画開発力、創造力と販売戦略が一体となって進めているNIKKEの国際展開について述べます。</p>
15.00 ～ 15.50	<p>炭素繊維イノベーション</p> <p>東京大学 工学系研究科</p> <p>技術経営戦略学専攻 教授 影山 和郎</p> <p>軽量化材料として炭素繊維複合材料は高いポテンシャルを有しているが、その用途拡大のためには、材料コストだけでなく、量産性、易加工性や作業性、リサイクル性ととも、炭素繊維の安定的供給が重要となる。ここでは、それらの技術課題の解決を目指したプロジェクトの概要を紹介するとともに、期待される成果ならびに産業界へのインパクトなどについて述べます。</p>
15.00 ～ 15.50	<p>日華化学のアジア市場展開</p> <p>日華化学（株）グループ研究センター</p> <p>センター長 松田 光夫</p> <p>繊維加工用化学品を主力製品とする日華化学は、1960年代後半から台湾、韓国を皮切りに、アセアン、米国、中国に次々に進出し、現在は7カ国10拠点で製品の開発・製造・販売を行っています。重要性を高めるアジア市場を見据えて、力を入れている研究開発のグローバル化、環境配慮型製品の開発、現地での市場開拓の取り組みについて述べます。</p>
15.00 ～ 15.50	<p>福井県の空気開織技術による新しい複合材料</p> <p>福井県工業技術センター 新産業創出研究部</p> <p>笹山 秀樹</p> <p>福井県では炭素繊維束等の強化繊維束の開織技術（福井県特許）を活用した厚さ0.1mm以下の薄層プリプレグシートを開発するとともに、その量産化に取り組んでいる。この薄層プリプレグシートを用いた複合材料は、特徴的な力学特性を示すことがわかってきており、様々な分野への活用が期待されている内容について述べます。</p>
休憩（15.50～16.00）	
16.00 ～ 16.50	<p>最新の防護衣料開発について</p> <p>帝人テクノプロダクツ（株）アラミド開発部</p> <p>アラミド商品開発課 課長 内川 哲茂</p> <p>防護材料分野で主に使用されている繊維の一つであるアラミド繊維には、その化学構造の違いから、高強度・高弾性率のパラアラミド、長期耐熱性・難燃性に優れるメタアラミドがあり、それぞれの特性を生かし、防弾、熱防護、などの分野で使用されています。特に、熱防護衣料の安全性評価については、ISO規格が整備され、世界共通の規格で安全性を評価し、担保する体制が整えられ、採用が拡大しています。講演では、最新の開発状況を、それを評価する規格とあわせて述べます。</p>
16.00 ～ 16.50	<p>量産型電気自動車への炭素繊維複合材料の適用</p> <p>BMW Japan Corp.Project BMW i・技術顧問</p> <p>山根 健</p> <p>自動車を取り巻く様々な課題を解決するため、電気自動車が注目されて開発されている。量産者としての性能を確保するには専用車体構造、新材料の採用が必要であり、大量生産に適した炭素繊維複合材料と、それを使用した車体を開発した内容を述べます。</p>
16.50 ～ 17.40	<p>スポーツシューズのグローバル展開</p> <p>（株）アシックス スポーツ工学研究所</p> <p>所長 西脇 剛史</p> <p>スポーツは世界共通の言語であるが、地域ごとに競技人口分布は大きく異なる。そのなかで、最も競技人口が多く、地域依存性が少ないものがランニングシューズである。本講演では、ランニングを中心に、スポーツシューズのグローバル展開方法について、マーケティング、生産、販売、研究面から概説すると共に、アパレル、用具についても述べます。</p>
16.50 ～ 17.40	<p>FRPスポーツ用具における強化繊維設計</p> <p>ミズノ（株）研究開発本部 養老研究開発室</p> <p>スポーツ技術課 課長 松井 泰志</p> <p>近年、炭素繊維を基調とした複合材料業界は、航空・宇宙用途ならびに自動車・産業用途における用途展開から発展し続けています。その牽引役とも言えるスポーツ用途は1960年代末から複合材料での開発を進め、80年代から90年代にかけて成長を遂げ、複合材料の基盤を築きました。その歴史を振り返るとともに、今後の展望について述べます。</p>

【参加費】 会員 22,000 円 (協賛団体会員を含む), 非会員 30,000 円, 学生会員 3,000 円
学生非会員 5,000 円, 特定会員 (65 歳以上の正会員) 8,000 円

【申 込】 申込書または「第 19 回秋季セミナー」と明記し, 氏名, 所属, 連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), 会員種別, 交流会参加の有無を記入の上, FAX または E-mail にてお申し込み下さい。学会 HP の秋季セミナー頁より参加申込ができます。

【申込先】 日本繊維機械学会 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

(社)日本繊維機械学会 行

FAX.06-6443-4694
E-mail : i-love-tmsj@nifty.com

11 月 15 日 (木) 16 日 (金) 開催
第 19 回秋季セミナー 参加申込書

(1) 氏 名 : _____

(2) 勤務先 : _____

(3) 所属部課名 : _____

(4) 所在地 : 〒 _____

(5) 連絡先 電話 : _____

E-mail : _____

(6) 会員種別 : 会員 ・ 協賛団体会員 (_____)

特定会員 ・ 学生会員 ・ 非会員 ・ 学生非会員

(7) 交流会 : 参加する ・ 参加しない

連絡事項

【大阪大学中之島センターまでのアクセス】

★電車によるアクセス

- 京阪中之島線 中之島駅6番出口より 徒歩約5分、渡辺橋駅1番出口より徒歩約5分
- 阪神本線 福島駅より 徒歩約9分
- JR東西線 新福島駅より 徒歩約9分
- JR環状線 福島駅より 徒歩約12分
- 地下鉄四つ橋線 肥後橋駅4番出口より 徒歩約10分
- 地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅7番または4番出口より 徒歩約16分

★バスによるアクセス

- 「JR大阪駅前バスターミナル」
大阪市バス(53系統)→ 中之島四丁目(旧玉江橋)下車 徒歩1分
大阪市バス(75系統)→ 田蓑橋下車 徒歩1分
- 北港バス(中之島ループバス ふらら)「大阪大学中之島センター前」下車徒歩約1分
※淀屋橋発(土佐堀通/住友ビル前)



※大阪大学中之島センターの正面玄関は中之島通に面しております。

10階建ての最上階がガラス張りで薄緑色に見える建物が大阪大学中之島センターです。

※タクシーでお越しの際は、近隣施設や建物に中之島センタービル等類似した名称の建物がございますので、「大阪市立科学館 北側の『大阪大学中之島センター』」とお伝えください。